

2003 年度 WG 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 30 日作成)

WG 委員会名	一般居住環境室内空気質基準作成 WG	主 査 名：池田耕一
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境小委員会)	委員長名：出口清孝
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>在来、建築学においては設計・施工といった生産することに主眼がおかれ、建築物を使うこと(住まうこと)により生ずる様々な問題は・比較的軽く扱われて来たきらいがある。そこで、WG では、居住者の生活において遭遇する各種の空気環境問題を想起して、建物使用者、生活者向けの情報の発信とともにそれらが有効に活用されるための社会的なシステムを提案するものである。</p> <p>具体的には今注目を集めている室内空気中の化学物質をはじめとして臭気、浮遊微生物等、室内の空気汚染物質全般について(1)既往の設計法の持つ問題点と限界を明らかにして(2)新しい設計法や各種仕様基準、施工基準、測定法の基準の提案や居住者のための指針を提案することを目的とする。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	国立私立の教育・研究機関と産業界から環境設備を担当する研究者や技術者により構成される。また、構成メンバーは関東甲信越・東北関西地方から選出され、地方性豊かな構成とする。	
2003 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	年 5 回、1 回平均 10 人程度の参加。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>化学物質、臭気、微生物汚染の 3 つの項目に関し、居住者・設計者・施工者・教育者・研究者・行政担当者向けの指針(住まい方マニュアル)作成に関し、情報を収集・整理した。この作業を経て、学会基準(案)とし、これに対する居住者を含めた専門家の意見を聞いた後、学会基準の原案として刊行委員会に送付した。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>上記の通りほぼ予定通り目標は達成された。</p>
その他評価すべき事項	特になし。